福　島　民　友　2018年(平成30年)3月21日(水曜日)

室屋選手が「空ラボ」

来春 子ども向け航空教室

エアレースパイロットの室屋義秀選手が社長を務める航空マーケティング会社「パスファインダー」は来年春、福島市のふくしまスカイパークで子ども向けの航空教室「空ラボ」を開校する。同所に新築する航空機展示場で行う。展示場は9月末に完成予定。

航空教室は小学3年から中学2年までが対象。室屋選手が特別講師として参加、飛行機操縦の楽しさなどを伝える。プログラムは年齢別に展開。小学3、4年生はパラグライダーなど空の遊びに触れ、同5、6年生は飛行機が飛ぶ仕組みを学ぶ。中学生はリーダー育成などに取り組む。県が進める航空宇宙産業の集積に連動し、福島から航空産業を担う人材を育成する。

展示場は鉄骨2階建て、延べ床面積は約717平方㍍。これまでふくしま飛行協会の展示場に保管していた室屋選手の操縦する飛行機を移して展示するほか、多目的ルームも設ける。

航空機展示場のイメージ（パスファインダー提供）

展示場着工を喜ぶ（右から）伊原氏、室屋氏、木幡市長、菅野社長＝20日午前、福島市・ふくしまスカイパーク内

航空機展示場の新築安全祈願祭 スカイパーク

パスファインダーは20日、ふくしまスカイパークで航空機展示場の新築工事安全祈願祭を行った。施工する菅野建設工業（本宮市、菅野泰助社長）、設計のファーイースト・デザイン・ラボ（東京都、伊原孝則代表）、ふくしま飛行協会の関係者らが出席。室屋選手は「飛行機に興味を持ってもらい人材輩出の場にしていきたい」と述べた。木幡浩福島市長が祝辞を述べた。

「空の拠点」起工

ふくしまスカイパークに航空機展示場

来春、教室開講へ

福島市大笹生の農道空港「ふくしまスカイパーク」に今秋、新たな施設が完成する。市内在住のエアレースパイロット室屋義秀選手(四五)が航空機展示場を整備し、来春、小中学生を対象にした航空教室を開講する。将来的に同空港で計画されている軽飛行機の研究開発やパイロット養成と連携し、福島の未来を切り開く。

握手を交わす(右から)伊原さん、室屋選手、木幡市長、菅野社長

室屋選手が代表を務める航空マーケティング業「パスファインダー」の航空機展示場の新築工事安全祈願祭と起工式は二十日、現地で行われた。

建設される展示場は鉄骨造りの地上二階建て、延べ床面積約七百二十平方㍍。一階は展示場で航空機三機を収める。二階に多目的ルームや事務所を整備する。四月十五日に着工を予定し、九月末の完成を目指す。

来春に始まる航空教室は「空ラボ」と題し、小学三年から中学二年までを対象に、小学三・四年生、同五・六年生、中学一・二年生の三コースを想定している。パラグライダーを使って体を空中に浮かばせる体験や、飛行機が飛ぶ仕組みの学習、グループディスカッション、リーダー教育など、年齢や興味に応じた講座内容にする。

特別講師として参加予定の室屋選手は「飛行機に興味を持ち、楽しんでもらう内容にしたい。将来的に産学官で連携し、航空産業の人材育成だけでなく、福島の未来を担う人材を育てていきたい」と目を輝かせた。

安全祈願祭と起工式に臨んだ木幡浩福島市長は「室屋選手がつくる上昇気流を捉え、オールふくしまで復興から創生へ次のステージにつなげていく」と語った。

起工式終了後に開かれた記者会見には室屋選手、木幡市長と共に、展示場を設計したファーイースト・デザインラボ(東京都)の伊原孝則さん、施工する菅野建設工業(本宮市)の菅野泰助社長が臨み、四人で固い握手を交わした。